

## 新型コロナウイルス感染症の患者発生の状況等について

新型コロナウイルス感染症に対しては、感染の拡大や事業の進捗に合わせて、本年4月の組織改正、本庁職員からの応援体制の確保に始まり、7月の人事異動で保健予防課コロナ対策療養担当へ事務職6人、地域保健課ワクチン接種担当へ事務職5人の増員を行い、併せて、8月から消防局との連携を図るためリエゾンとして救急隊員を保健所内に常駐するなど、体制の強化に務めてきたところです。

本市においては、7月22日からまん延防止等重点措置の措置区域に、8月2日から緊急事態宣言の実施区域に指定されるなど厳しい感染状況が続いていますが、本市における直近の、新型コロナウイルス感染症の患者発生の状況等についてご報告するものです。

なお、次に記載する頁番号は、資料2の頁番号です。

### 1 新規感染者の推移

新規感染者数は、5月中旬以降、1週間当たり35人から57人の幅で停滞していました。しかし、7月の中旬から急激に増加し、8月20日には1日当たりの感染者数としては過去最多の132人を記録しました。特に、7月4日から10日の週合計感染者数は53人でしたが、8月15日から21日の週合計感染者数は722人と、約13.6倍となっています。(1頁～2頁参照)

また、県が定めたステージ判断のための指標(以下、「ステージ判断指標」という。)のうち、人口10万人当たり週合計感染者数に関するステージ3の指標は15人以上、ステージ4の指標は25人以上となっていますが、本市における8月23日時点の数値は174.12人を記録するなど、ステージ4の基準を大きく上回る状況が続いています。(3頁参照)

### 2 陽性率、相談件数

8月20日時点の陽性率は28.2%となります。ステージ判断指標のうち、陽性率に関するステージ3の指標は5%以上、ステージ4の指標は10%以上とされていますが、本市における陽性率はステージ4の基準を上回る数値となっています。(4頁参照)

また、相談件数についても、新規感染者数の増加に比例して、7月以降増加しており、8月2日には222件を記録しました。(5頁参照)

### 3 年代別感染状況

各月における年代別感染状況として、高齢者を優先したワクチン接種の一定の効果と思われませんが、高齢者の新規感染者数は抑えられている一方、10代から50代については、7月から急激に増加しています。特に、20代の新規感染者数が全体を占める割合は、7月は28%、8月は24%と、全体の新規感染者数が増加しているにもかかわらず、高い割合を占めています。(6頁～7頁参照)

### 4 推定感染経路、発表時点の症状及び処遇

県のステージ判断指標のうち、感染経路不明割合に関するステージ3及びステージ4の指標は50%以上とされていますが、本市における推定感染経路不明割合は、令和3年4月以降、毎月50%を超えています。特に、週平均での感染経路不明率は、直近の8月23日では58%となっています。(8頁～9頁参照)

また、新規感染者の症状としては、軽症が4,737人(88%)と最も多く、処遇としては、3,871人(72%)の方が自宅療養、488人(9%)の方が入院となっています。(10頁～11頁参照)

以上

(事務担当 健康医療部保健所地域保健課)